

産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業  
【テーマA】教育改善・充実体制整備 最終評価結果

大学グループ名	大阪府立大学グループ
取組名称	産官学地域協働による人材育成の環境整備と教育の改善・充実
取組テーマ	<b>テーマⅠ</b> ：領域・規模別産業界ニーズをふまえた教育カリキュラム体系・内容の構築 <b>テーマⅡ</b> ：人材のミスマッチの解消をめざす産官学地域協働 <b>テーマⅢ</b> ：領域・規模別産業界ニーズをふまえた教育手法・手段の開発 <b>テーマⅣ</b> ：評価体制づくりのための効果的な ICT 活用
取組担当者	大阪府立大学・教授・山野 則子
連携校名 (★幹事校)	和歌山大学、★大阪府立大学、兵庫県立大学、追手門学院大学、大阪音楽大学、大阪工業大学、大阪成蹊大学、関西外国語大学、摂南大学、帝塚山学院大学、芦屋大学、大手前大学、神戸学院大学、大阪音楽大学短期大学部（計14校）

事業概要

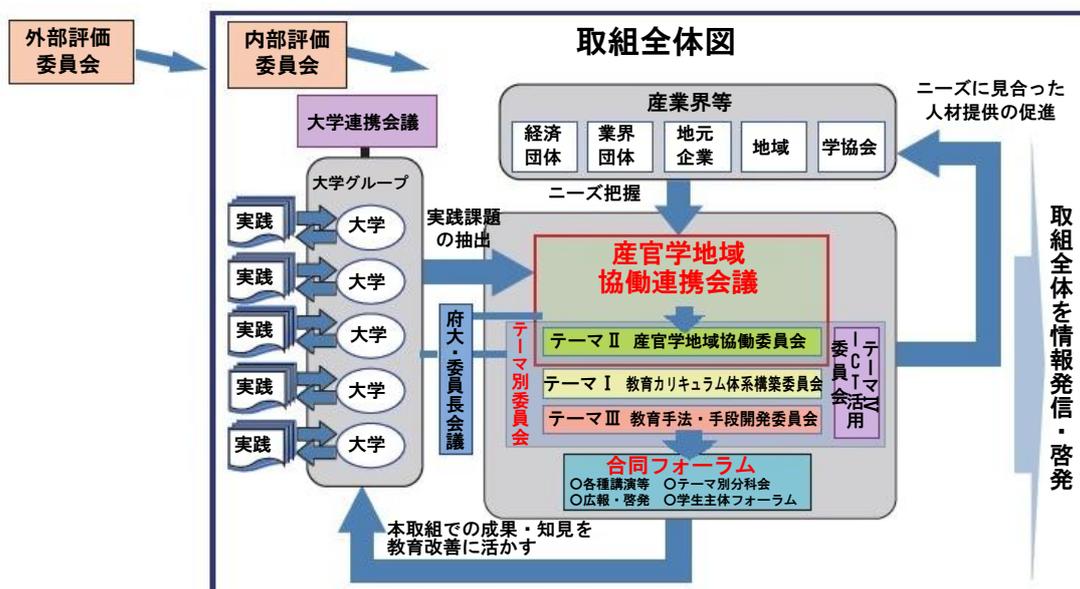
本補助事業は、大阪・兵庫・和歌山の関西地域の課題である特徴的な中小企業が多いものの学生に情報が浸透していない点と人材のミスマッチについて、14大学と産業界が連携し、4つの取組テーマを切り口に、産業界のニーズに対応した人材養成に向けて教育の一層の充実・発展を目指す取組である。

○**取組テーマⅠ**＜キャリア教育カリキュラム体系構築＞：参加大学のキャリア教育に関連するカリキュラムを産業界ニーズに応じた内容及び構成について検証・改善。キャリア教育の体系化に向けてカリキュラムの要素分類・教師塾カリキュラムを各大学に還元した。

○**取組テーマⅡ**＜産官学地域協働＞：企業の協力を得て産業界ニーズ調査を実施した。産官学が協働して人材育成及び教育改善等を行う体制づくりを目指し、継続した協力体制として産学協働人材育成プラットフォーム（AICE）を整備した。

○**取組テーマⅢ**＜教育手法・手段開発＞：インターンシップやPBL教育等の事例を分析し、産学協働でその結果を検証すると共に、連携大学が共同開発したPBL合宿や合同FD・SDを実施した。学生リーダー会を立上げ学生から見た教育改善にも取り組んだ。

○**取組テーマⅣ**＜ICT活用と評価＞：学生の主体的な学びを導き出すためのICTの活用事例を収集し、その内容等を分析するとともに、産業界ニーズの調査結果を踏まえて、評価方法に関する提言を行うことを目指した。事例集を作成し各大学に還元した。※詳細については、<http://www.sneeds-kansai.jp/>を参照。



最終評価結果＜総合評価＞ A

《コメント》

大学連携会議や4つの取組テーマ委員会において、事業の全体と4つの取組テーマの事業活動を相互に確認して推進したことで、各大学間の情報共有と連携が進み、成果を高めている。特に、学生が主体となって活動した学生リーダー会が存在が、大学と産業界の連携機能の複層化につながっており優れている。併せて、取組の成果をホームページ上に公開しダウンロード可能としている姿勢も、取組の普及に効果的であり評価できる。さらに、支援期間終了後についても「産学協働人材育成機構AICE」の構築がなされ、期待できる内容である。

一方で、評価について、各プログラムに対してアンケート評価を実施し効果検証をしているが、評価基準と評価指標は、事業実施前に予め策定することが必要である。また、学生リーダー会設置や合同フォーラムの開催など、当初から学生目線で地に足の着いた取組を積み重ねていけば、さらに発展的な展開が期待されたと思われる。